

全国学力・学習状況調査結果概要と対策

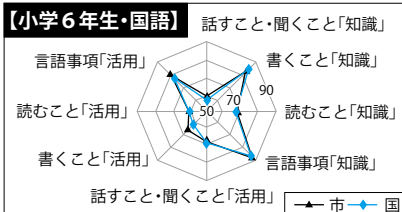
平成19年4月に、児童・生徒が身に付けるべき学力の一部分を測定する「全国学力・学習状況調査」が実施され、10月末に結果が公表されました。本市の概要は次の通りです。

本市児童・生徒の学力は、小学校では「国語・算数」とも県の平均正答率を上回っていました。中学校では「国語・数学」とも県の平均正答率と同等でした。また、全国的に基礎的な知識を「活用する力」が低いという結果でしたが、本市も同様でした。

■参加者Ⅱ 小学6年生(978人)・中学3年生(999人)
 ■調査内容Ⅱ 「知識」に関する問題A、「活用」に関する問題B、生活習慣・学習環境に関する質問(小学生99問・中学生101問)

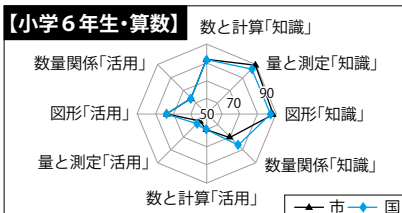
①「知識」・「活用」に関する結果の概要と学力向上へのポイント

【小学6年生・国語】



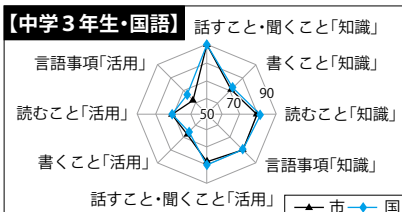
自分の伝えたいことを、相手によく分かるように工夫して話すことや、低学年のうちから読み聞かせや読んだ本の内容を親子で話し合うなど家庭でも本に親しむ機会を増やすことが大切です。

【小学6年生・算数】



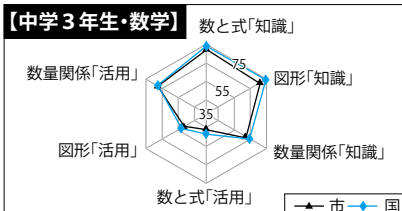
例えば、風呂の湯が時間とともに増えていくことに着目して、何分後にいっぱいになるかを予想し行動したり、カレンダーから曜日は7とびになっていることなど、数のきまりを見つけたりすることなど生活と結びつけて考えていくことが大切です。

【中学3年生・国語】



物語や小説以外の本も読むなど、読書の幅を広げたり、新聞・資料・グラフなどからも必要な情報を読み取ったり、手紙・はがきを書く機会を設けて日記に自分の思いを表現したりすることも大切です。

【中学3年生・数学】

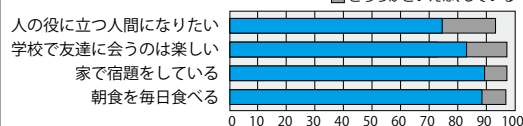


例えば、円柱の形をした物の中に、実際に水や砂を入れ体積を求めたり、図形を折ったり切ったりしながら特徴を見つけたりするなど実験や実測を通して理解していくことや、問題場面を図やグラフなどに表して筋道を立てて考え、結果を予想しながら解決していくことも大切です。

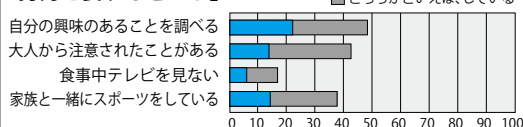
②学習状況調査結果の概要(本市の特徴的なものを一部抜粋して掲載します)

【小学6年生】

「優れているところ」



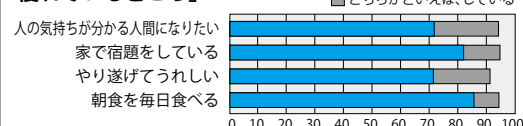
「努力を要するところ」



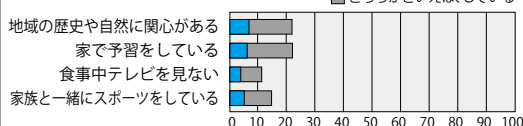
学力向上と関係があるといわれる朝食は毎日よく取っていますが、食事中にテレビをつけている家庭が多いようです。子どもに今日の出来事を聞くなど、家族の会話がなされると、子どもが夢や希望を持って、より一層学習に励むようになると考えます。

【中学3年生】

「優れているところ」



「努力を要するところ」



多くの子どもが、勉強ができるようになりたいという願いを持ち、達成した喜びも味わいながら前向きに生活しています。一方、予習ができなかったり地域への関心が薄かったりする子どもが多く、家庭学習や地域行事の在り方などを考えていく必要があります。

③今後の対策

教育委員会や学校では、「小中一貫教育」や「中小連携」を進め、子ども一人一人に確かな学力を付ける授業方法の改善を行うとともに、家庭と連携して基本的生活習慣の確立に努めていきます。

なお、各家庭では、特に次のことについて取り組んでください。

- ▶家庭での勉強時間をしっかり確保し、睡眠や食事、運動の安定した生活リズムをつくりましょう。
- ▶食事中はテレビを消して、家族の会話を楽しみましょう。
- ▶家族ぐるみで地域などの行事に積極的に参加しましょう。

●問合せ先＝

本庁学校教育課指導グループ
(内線 5351)